

## 西日本部会の部会運営

九州大学 前田真一郎

西日本部会がカバーするのは、九州・沖縄地方および中国・四国地方である。2009 年度に部会案内の完全電子メール化を実施し、各県所在の大学に所属しておられる会員の方々に案内状をお送りしてきた。部会の報告をして頂く会員の所属や、部会の開催をお引き受け頂く大学も、この地方に分散している。

2024 年 1 月時点で、学会ホームページのウェブ会員名簿を用いて部会案内をお送りしている会員数は 91 名である。10 年前の 2014 年 1 月時点で、学会ホームページのアドレス帳（当時）を用いて部会案内をお送りしていた会員数は 141 名であったため、この 10 年間で会員数は減少している。

2014 年度以降における部会の運営体制は、以下の通りである。2014 年度から 2017 年度の幹事は川波洋一であった。2018 年度から部会活動について事業計画を提出するようになり、2018 年度から 2021 年度の代表幹事は岩田健治、会計幹事は前田真一郎であった。代表幹事の任期は 4 年となっており、2022 年度より代表幹事は前田真一郎、会計幹事は岩田健治の体制で運営を行っている。

<2014～2017 年度>

幹事：川波洋一（九州大学）

<2018～2021 年度>

代表幹事：岩田健治（九州大学）

会計幹事：前田真一郎（九州大学）

幹事：川波洋一（下関市立大学）、深浦厚之（長崎大学）、兵藤隆（山口大学）、掛下達郎（福岡大学）

<2022 年度～>

代表幹事：前田真一郎（九州大学）

会計幹事：岩田健治（九州大学）

幹事：深浦厚之（長崎大学）、兵藤隆（山口大学）、掛下達郎（福岡大学）、吉川卓也（中村学園大学）

西日本部会では、2014 年度から日本金融学会創立 80 周年に当たる 2023 年度までの 10 年間に、合計 18 回の部会大会を行ってきた。その間の総報告本数は 62 本であった（2024 年 3 月開催予定の 2023 年度第 2 回例会の報告数は、プログラム未確定のため含めていない）。部会大会は、通常年 2 回のペースで開催している。前回の『日本金融学会 70 年の歩み』（[https://www.jsmeweb.org/aniv\\_70th/](https://www.jsmeweb.org/aniv_70th/)）によると、2004 年度から 2008 年度までは部会大会を年 3 回開催しており、2009 年度からは年 2 回の開催となっている。

このように部会大会は、通常年2回のペースで開催してきたが、2020年2月29日に開催予定としていた2019年度第2回例会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止を余儀なくされた。これは、新型コロナウイルス感染防止の観点から、常任理事会での緊急審議を経て、2020年3月中に予定されていた日本金融学会関係の部会等を原則中止とする旨の決定がなされたことに伴うものである。

部会大会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2020年度から2022年度の第1回例会にわたる計5回において、Zoomによるオンライン形式で開催することになった。オンライン形式で部会大会を開催する際には、当初オンラインの接続や操作方法に戸惑うこともあったが、参加する場所の制限がなくなることによって、西日本部会の会員以外の参加も可能となった。例えば、2020年度第2回例会（2021年3月14日開催）では、特別招待セッションを設けて、村本孜会員（成城大学名誉教授）にご報告頂いた。また2022年度第1回例会（2022年9月3日開催）では、中部部会の会員にもご報告頂いている。オンライン形式での部会開催を案内する際には、西日本部会以外の希望する学会員にも参加できるように連絡を行った。

西日本部会では、他の学会等との共催も行ってきた。年2回の部会大会のうち1回は、九州経済学会との共催とすることが多くなっている。2014年度から2023年度の部会大会18回のうち7回は、九州経済学会との共催であった。ほかにも2017年度第2回例会（2018年3月24日開催）では、西日本部会単独セッションに加え、日本国際経済学会九州・山口地区研究会との共催セッションを開催した。この共催セッションでは、共通論題「世界経済の現局面をどうみるか—国際金融の視点から」というテーマにて、西日本部会以外の会員も含め3報告（各30分）および全体討論（50分）を行った。

部会の開催地域としては、九州地方が中心となっている。2014年度から2023年度の10年間における開催地は、九州大学が7回と多く、鹿児島大学、久留米大学、西南学院大学、下関市立大学、九州産業大学、中村学園大学が各1回、オンラインが5回となっている。

西日本部会において取り上げられているテーマは、金融理論、銀行業の歴史、地域金融、国際金融、各国金融、金融危機等、広範な領域にわたっている。全体として、理論や歴史、金融業、各国金融分析について当部会の多様な関心を窺わせる報告内容となっている。また近隣の地方銀行等を分析対象とした地域金融についての報告も多くなっている。

2023年度には、日本金融学会2023年度秋季全国大会を九州大学にて開催した。その際には、合計41本の報告が行われたが、西日本部会の会員も多くの報告を行った。また会場となった九州大学伊都キャンパスは、福岡の中心街から離れており、土地勘のある西日本部会の会員が中心となって会場案内等を行った。

西日本部会としては、今後も、報告者、報告テーマ、開催地域の多様化を図りながら、部会運営を行っていきたいと考えている。